

板橋区立美術館大規模改修の概要

1 これまでの経過

板橋区立美術館（以下「美術館」）については、昭和54年の開設から38年が経過し、老朽化が進んでいる。

美術館の大規模改修については、いたばしNo.1実現プラン2018「実施計画」編の戦略事業・計画事業に位置付け、平成28年12月に設計に着手し、平成30年3月までに設計完了、平成30年6月から工事開始、平成31年5月の工事完了をめざしているところである。

なお、リニューアルオープンは、平成31年6月下旬を予定している。

2 施設概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 開設 | 昭和54年5月 |
| (2) 敷地・延床面積 | 敷地面積2,333㎡、延床面積2,086㎡ |
| (3) 構造 | 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨）地上2階建
2階…第一・第二展示室、展示コーナー
1階…講義室、アトリエ、研究室、ロビー、収蔵庫、事務室 |

3 区立美術館のめざす方向性

- 板橋区基本計画2025では、未来創造戦略の戦略展開7「文化・スポーツによるにぎわいの創出」の方向性の一つとして、「区立美術館の魅力をさらに高め、地域に親しまれる美術館として充実を図る」としている。
- 「魅力をさらに高める」戦略として、現在の美術館展示の3つの柱である古美術、近現代、絵本のうち、古美術については、展示ケース等ハード面の更新によって、国宝・重要文化財の展示を可能とする。また、近現代・絵本については、より柔軟性のある展示が可能となる展示パネルを設置し、企画展示の充実を図っていく。
- 「地域に親しまれる美術館」については、コミュニティスペースの新設やアトリエ等の貸出日数を増やすなど、地域に親しまれる美術館としての事業の充実を図っていく。

4 改修内容の主な特徴

○国宝・重要文化財の公開許可を受けられる展示環境を整えます。

- 国宝・重要文化財の公開許可を国から受けられるよう、展示ケースの一部のエアタイト化、空調システムを整備します。
- より良い展示環境となるよう、展示パネルをリニューアルします。

○コミュニティスペースを設けるなど地域に開かれた美術館をめざします。

- 玄関入口付近にコミュニティスペースを設置します。
- 赤ちゃんの駅を設置します。
- 導線確保・セキュリティ強化により、展示替え期間中もアトリエ等の貸出を可能にします。

○人と展示品等の導線を分けるなど快適な空間を確保します。

- 展示品等搬出入口の拡張、備品庫の整備のほか、人荷用エレベータを設置します。
- 展示フロア入口へのドアの設置、風除室の拡張により館内の環境を良好に保ちます。

○ユニバーサルデザインを推進します。

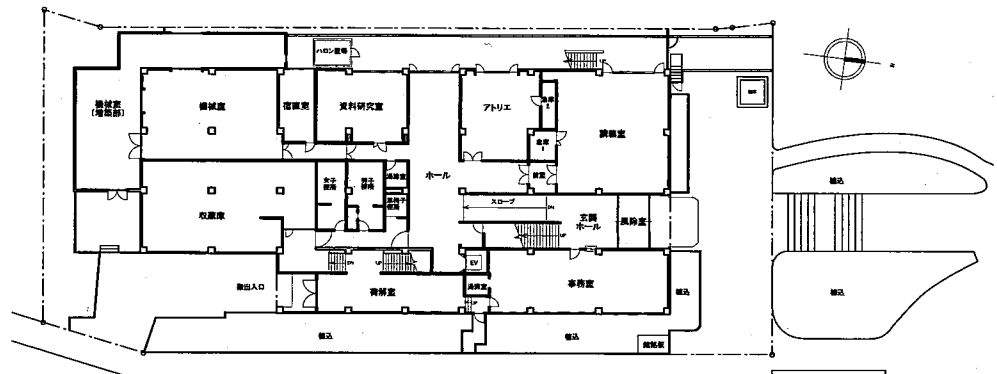
- 1階の導線見直し・人荷用エレベータ設置に併せ、トイレをリニューアルします。
- 玄関前及び1階のスロープ・段差を解消します。

○セキュリティを強化します。

- 展示室、展示スペース、展示コーナー、ホール等へ監視カメラを設置します。
- 収蔵庫等貴重品の保管場所にはカードリーダーを設置し、入室者を制限します。

5 スケジュール

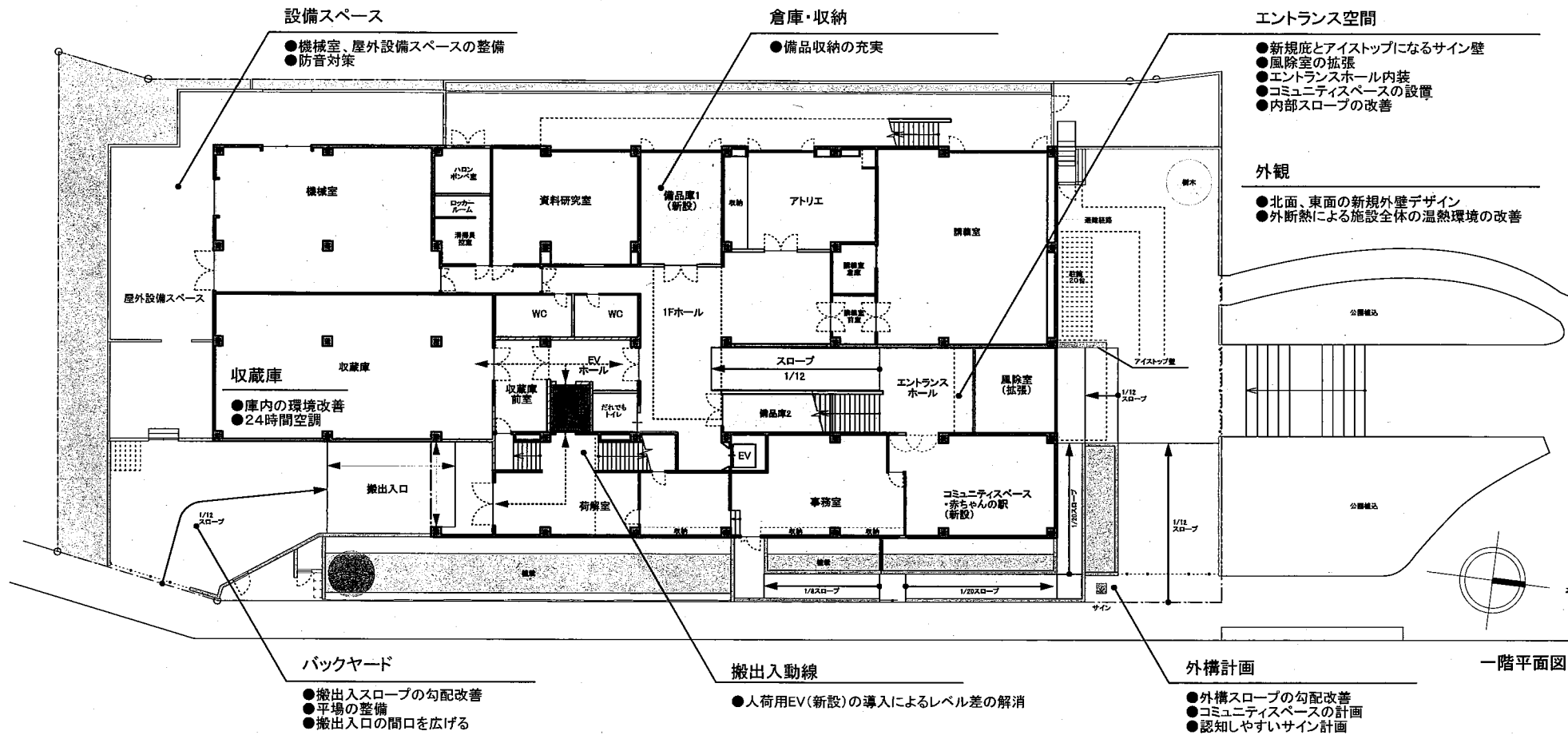
平成 29 年 11 月	美術館運営協議会において説明
平成 29 年 12 月	成増支部町会長会議において説明 美術館アトリエ利用者懇談会において説明
平成 30 年 3 月	設計完了
平成 30 年 5 月	仮移転（仮移転先：旧高島平あやめ児童館）
平成 30 年 6 月	改修工事着手
平成 31 年 5 月	改修工事完了
平成 31 年 6 月下旬	リニューアルオープン



既存一階平面図

計画概要

1. レベル差の解消と動線計画の見直し
人荷用EVを新設し、搬出入のレベル差を解消する外部、内部、共にスロープ勾配を改善し、安全な利用を可能にする
2. 外観・外構計画
全面に外断熱を施し、温熱環境の改善を行う更に公園、通りに面する北・東面は、新たに印象的な外壁を計画する
3. エントランス空間
風除室を拡張し、新規庇とアイストップとなるサイン壁を計画するエントランスホール内装を一新しコミュニティスペースを設置する
4. バックヤード、倉庫収納の充実
搬出入口の間口を広げる備品収納を充実させる
5. 設備スペースの改善
機械室、屋外設備スペースの整備を行う防音に配慮した、計画とする



設備スペース

- 機械室、屋外設備スペースの整備
- 防音対策

倉庫・収納

- 備品収納の充実

エントランス空間

- 新規庇とアイストップになるサイン壁
- 風除室の拡張
- エントランスホール内装
- コミュニティスペースの設置
- 内部スロープの改善

外観

- 北面、東面の新規外壁デザイン
- 外断熱による施設全体の温熱環境の改善

バックヤード

- 搬出入スロープの勾配改善
- 平場の整備
- 搬出入口の間口を広げる

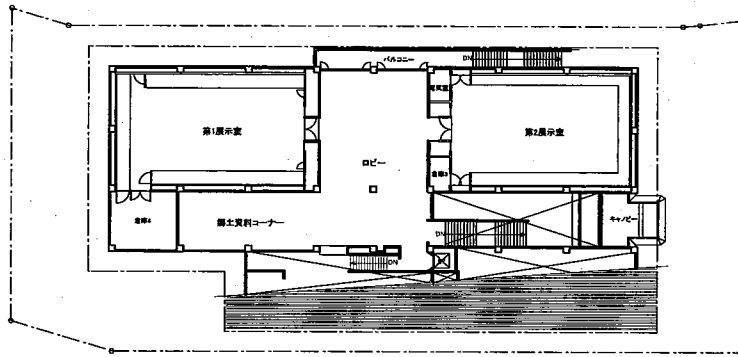
搬出入動線

- 人荷用EV(新設)の導入によるレベル差の解消

外構計画

- 外構スロープの勾配改善
- コミュニティスペースの計画
- 認知しやすいサイン計画

一階平面図



既存二階平面図

計画概要

1. 展示空間の拡張

展示スペース、展示コーナーもハロン消火の区画に追加することを検討し、展示空間を拡張する開口部は、前面に展示可能な壁面を計画する

2. 展示ケース新設

第一、第二展示室内の展示ケースを改修し性能、使い勝手、意匠性を向上させる
躯体との間に空間を設け、美術品にとって良好な環境を計画する区

3. 可動展示間仕切新設

使用頻度の高い展示パネルは、意匠性、使い勝手を十分考慮した計画とする
収納、設置作業のしやすさも考慮し計画する

4. 展示室倉庫・収納の充実

展示壁格納スペースを工夫し、展示什器等を保管する展示室内収納を充実させる

展示ケース

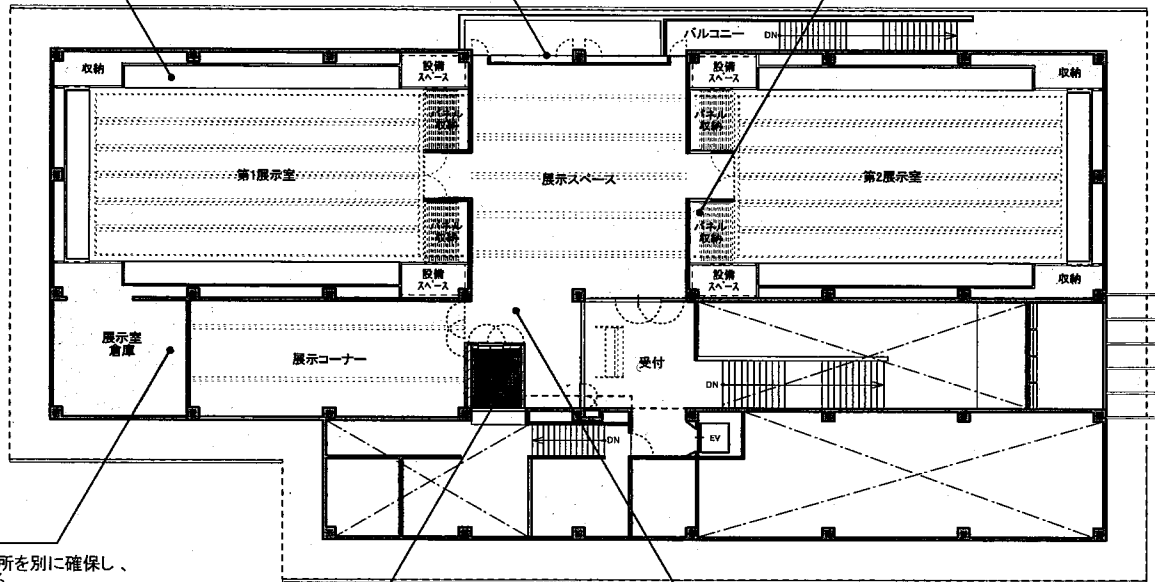
●エアタイト仕様の展示ケース (展示室1のみ)

新規壁面の増設

●展示可能な壁面を増設する

可動展示壁・展示室内収納

●展示壁格納スペースを工夫し
展示室内収納を充実させる



展示室倉庫

●可動展示パネル収納場所を別に確保し、独立ケース等を収納する

搬出入動線

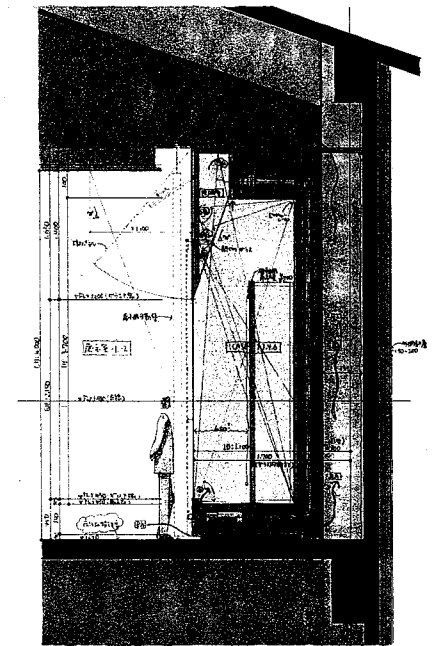
●人荷用EV(新設)の導入によるレベル差の解消

展示スペース・展示コーナー

●展示スペース及び展示コーナーを新たにハロン消火区画とする
●受付を別区画とし、自動ドアを設置

二階平面図

展示計画(展示ケースの断面検討)



2024.08.26 15:00 設計 2024.08.26 15:00 設計